

みずほCustomer Desk Report 2016/06/10号(As of 2016/06/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	106.75 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.79	1.1402	121.81	0.9586	1.4513	0.7489
SYD-NY High	107.18	1.1416	121.91	0.9656	1.4527	0.7505
SYD-NY Low	106.26	1.1306	120.32	0.9578	1.4447	0.7421
NY 5:00 PM	107.14	1.1316	121.21	0.9647	1.4455	0.7428
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.98/12.51		△25RR	1.640	Yen Call Over	

NY DOW	17,985.19	▲ 19.86	債券市場	日本2年債	-0.2440	▲0.5bp
NASDAQ	4,958.62	▲ 16.03		日本10年債	-0.1250	▲2.5bp
S&P	2,115.48	▲ 3.64		米国2年債	0.7670	▲0.8bp
日経平均	16,668.41	▲ 162.51		米国5年債	1.2207	▲1.0bp
TOPIX	1,337.41	▲ 13.56		米国10年債	1.6867	▲1.5bp
シカゴ日経先物	16,685	▲170.00		独10年債	0.0330	▲2.2bp
ロンドンFT	6,231.89	▲69.63		英10年債	1.2430	▲1.0bp
DAX	10,088.87	▲128.16		豪10年債	2.0930	▲6.0bp
ハンセン指数	-	-		為替市況	USD/CNH	6.5807 0.0143
上海総合	-	-		ドルインデックス	94.10	0.51
USDJPY 3M Vol	11.33	0.53%	商品市況	CRB指数	195.099	▲0.72
USDJPY 6M Vol	11.18	0.40%		NY金	1,272.700	10.40
EURJPY 3M Vol	12.13	0.64%		WTI	50.560	▲0.67
EURJPY 6M Vol	11.77	0.50%		Dubai Spot	47.73	0.31

東京	発表された本邦4月機械受注は前月比-11.0%、前年比-8.2%と予想(前月比-3.0%/前年比-1.8%)を下回る結果となったものの、相場への影響は限定的で106.79レベルにて東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大し、米金利が低下する中、ドル円はじりじりと値を下げ106.52をつける。一部では、本邦大手銀行が国債特別資格を返上すれば国債の安定的な入札に支障を来すのではとの懸念や、中曽日銀副総裁の「年金生活者や高齢者には低金利環境の長期化で利息収入の低下だけがデメリットとして意識される。そうした方々には申し訳ない。」との発言が伝わったことも、相場の重石となった。但し、一段の下押しとはならず106円台後半でレンジ推移。午後に入っても同水準で方向感なく推移し、結局106.74レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は下落、106.74レベルでオープン後、原油価格が利益確定売りに押されて下落するなどリスクオフ地合いが強まったことや、ユーロ安が主導しユーロ円が121円を割り込んだことを受けドル円も連れ安となり、一時106.26まで低下。終盤には、小幅に買い戻され106.51レベルでNYに渡った。ユーロドルは売り優勢、1.1394レベルでオープン後、ドラギ総裁の「長期にわたりインフレ率を目標下回る水準に放置しない」との発言を受け独10年債金利が過去最低水準まで低下したことを背景にユーロは下落、1.1329まで下落した後、1.1341レベルでNYに渡った。(ロンドントルフリ00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は106.51レベルでNYオープン。朝方、発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回ったことから106.63まで戻したものの上値は重く、106.39まで下落。その後は106円台半ばでレンジ推移。午後に入り、軟調に推移していたが下げ幅を縮小させる展開にドル円はじり高となり、107.18まで上昇。結局、107.14レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1341レベルでNYオープン。朝方は原油相場が下落し、コモディティ通貨売りドル買いが強まったことから、1.1306まで下落。しかし、このレベルでは買い意欲もあり1.1337まで戻す。午後は新規材料が乏しい中、1.1320付近での推移が続く、1.1316レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
6月9日	08:50	日	機械受注(前月比/前年比)	4月	-11.0%/-8.2%	-3.0%/-1.8%
	08:50	日	対外対内証券投資		-	-
	10:30	中	CPI/PPPI(前年比)	5月	2.0%/-2.8%	2.2%/-3.2%
	15:00	日	工作機械受注(速報、前年比)	5月	-25.00%	-
	16:00	欧	ドラギECB総裁 講演		-	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数		264K	270K

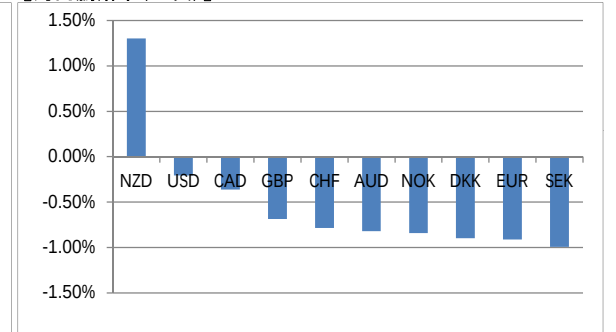
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
6月10日	08:50	日	国内企業物価指数(前月比/前年比)	5月	0.1%/-4.2%	-0.3%/-4.2%
	15:00	独	CPI(確報、前月比/前年比)	5月	0.3%/0.1%	0.3%/0.1%
	15:00	独	EU基準CPI(確報、前月比/前年比)	5月	0.4%/0.0%	0.4%/0.0%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド(速報)	6月	94.0	94.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-107.50	1.1250-1.1350	120.50-121.70

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は小幅に反発した。米10年国債利回りが1.7%を明確に割り込む中、アジア時間よりドル円は106円台後半からじり安の展開。欧州時間には原油安やクロス円の下落も相まって一時106.26をつけたが、その後米国時間に当初軟調推移していた米株式市場が反発する中、107.18まで反発し、結局107.14付近でクローズしている。本日のドル円は既往レンジ内での推移を予想する。来週に日米金融政策決定会合、6月23日には英国のEU離脱を問う国民投票を控える中、ポジションを傾けづらい状況は続く。週末、5・10日要因に伴う実需筋のドル買い需要にアジア時間のドル円はサポートされる可能性もあるが、グローバルに金利が低下する環境が続く中、上値は限定的となるだろう。